



International Institute of Multi-cultural
Studies

特定非営利活動法人

国際比較文化研究所

Newsletter

Vol. 8 No. 2

2007年 11月

多文化交流 in マラン (インドネシア) 2007

太田敬雄

9月に実施した「多文化交流 in マラン2007」には学生から社会人まで、年齢幅は50年にもなる18名の参加者を得て実施されました。マランではブラウイジャヤ大学で荒井美幸さん(当研究所の会員)から日本語を教わった学生達が大勢通訳として参加してくれたため、参加者一人一人に通訳兼交流相手一人が付くという贅沢極まりないプログラムとなりました。

「多文化交流」プログラムでは常に「人と人の交流」を目指し、そこに一般の短期留学やあるいは観光旅行では望むことの出来ない国際比較文化研究所オリジナルのプログラムを作り上げて来ましたが、今回のプログラムは特にその部分が充実したものとなりました。その背景にはマランの大学で日本語を専攻している学生達にとって、大学の日本語の先生方との時間を除いて、日本人と日本語で会話する機会が殆ど無いことが挙げられます。通訳として参加してくれた学生達にとって、自分達の日本語が同世代の日本人との会話に充分通用することが分かった貴重な体験となったようです。

日本から参加するメンバー、マランで受け入れてくれるメンバー、それぞれの役割は違っても双方にとって貴重な「交流」のプログラムとなったことをうれしく思います。



参加した学生の一人が、マランでの興奮も冷め遣らないままにミクシーに旅行記を書き込んでいました。インフォーマルな「日記」なのですが、そのまま掲載させていただきます。(スペースの関係上、段落を少々詰めさせていただきました。)

9月4日(火)

7時前にコロコロボストンと共にお家を出発！ 通勤・通学時間でみんなに荷物邪魔なんだよ目線を送られつつも、1時半頃成田到着。一緒に行く17人と合流♪始めましての挨拶をしながらドキドキの搭乗手続き。

14時15分、成田発。17時、台北到着。もう1人のメンバーと合流。18時40分、台北発。22時35分、スラバヤ着。25時頃、マラン着。この旅の拠点となったのは、マランにある国立ブラウイジャヤ大学のゲストハウス。そこのホテルより綺麗で感動。



9月5日(水)

ゲストハウスで朝食。パッと見てわからない食べ物だらけで、若干焦る。聞いてた通り、とにかく辛いものとともに甘いものがあるってカルチャーショック。でも美味。インドネシアの食は私には合いました☆

午後は大学近くの Matos (ショッピングセンター)へ買出し。

- ・ 虫除け(日本の虫除けは効きません！)
- ・ 水(水道水は飲んだら危険)
- ・ ドリアン(せっかく本場だしということで・・・)

夜は Kompa (大学のカフェ)で日本語専攻の学生と交流会。ここで初めて自分の通訳学生とご対面！ ブラウイジャヤ大学で日本語を学んでる学生が、日本人1人につき1人通訳としてつくという形で、このプログラムに参加してくれたんです。

本当に日本語が上手！なんだかショックを受けるくらいに！ たった4年かそこら勉強しただけであんなにすらすら喋れるなんて。見習わなきゃです



あっ、夜にゲストハウスの一室でドリアンパーティーしました。とにかく臭いがすごかったです。味は意外と甘くて美味しいけど、においのせいで全て台無し！

9月6日(木)

通訳学生のコーディネートによるマラン観光ツアー♪ 私は“Batik ツアー”に参加。バティックとは、インドネシア特産のろうけつ染めの布地。サロン・パレオ・スカーフ・ハンカチなど様々なものがあるみたい。

そのバティックを工場で実際に作らせてもらったんです(≧▽≦)素人の私たちはハンカチサイズの簡単なものですけど。決して上手とは言えないけど、世界にたった1枚のバティックのハンカチができて、みんな大満足でした(*^▽^*)

9月7日(金)

朝は金曜礼拝見学。インドネシアはイスラム教徒が80%以上を占める国。大学構内にもモスクがあり、生徒や近くの住民はそこを使うそう。そして、金曜日は男性だけがモスクの中でお祈りをする日だそうです。

午後はこの大学での日本語の授業の見学。2年生が日本語で「今学期の目標」を発表してくれて、その後グループに分かれて質疑応答タイム。みんなすごく一生懸命日本語を勉強してくれて日本を愛してくれて、とても感動しました。みんながみんな日本に行けたりするわけじゃないのに、すごいです。

その次にまた違う日本語の授業見学。今度は「私の大切なもの」をテーマに日本人と日本語専攻の学生でディスカッション。自分の意見をしっかり持って、それをきちんとした日本語で発表できるってことに驚き、自分が惨めに思えました。

9月8日(土)

午前中は通訳学生と2人で行動。私はマランの中心地 ALUN ALUN に連れてってもらったり、学校のサークルにお邪魔してジャワの楽器と踊りを教えてもらったりしました。大勢ではなかなかできない体験ができて面白かったです☆

午後はホストファミリーとご対面。私のホストマザーは年に1回学会のために日本に来てる人で、日本のことをよく知っててなんだか拍子抜けしました(^^;))

そのまま今日はホームステイ！お家は普通かもしれないけど、柱とか壁とか所々に施されてる装飾が綺麗で、こういうお家もいいなあって憧れました。

寝る前に日本での沢山の写真や品々を見せてもらい、私よりも日本のたくさんの所に行っていて日本にとっても詳しいので焦りました。

でもインドネシア独特のお風呂とトイレを体験できて満足満足♪

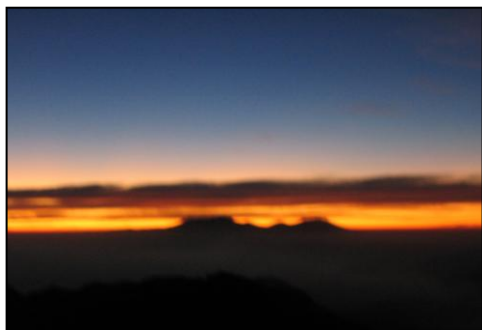


9月9日(日)

ホストマザー&ファザーに色々連れてってもらう。シンガサリチャンディーという寺院、デルマンという馬車体験、超高級住宅街、昼食は手で食べてみたり、陶器のお店や花市場にも行きました。

でも夕方には楽しかったホームステイもおしまい↓↓ たった1泊だったけど、この夫婦に出会えてよかったなって思えたくらい楽しかったです。

9月10日(月)



夜中の12時に集合して、山に出発。とにかく寒かったけど、本当に絵に描いたような満天の星空を見れて、泣きそうなくらい感動しました。溢れ出そうな、落ちてきそうな、手に届きそうな星空。今でも忘れられません。

そしてそのまま日の出を見る。プレウエディング撮影のカップルに邪魔されながらも、素敵な光景を見られました。あんなに広い所で見た朝日ははじめてかも。

日が出てからは、プロモ山に移動。そこで馬に乗るんだけど、車から降りたら現地人に囲まれ引っ張られ怖い思いをしながらも、頼もしい通訳学生に助けられて惚れそうになる。必死の思いで自分の乗る馬に辿り着き、生まれて初めて馬に乗り、火山灰でできた砂漠を渡

り、硫黄臭い山を登る。 初・乗馬はすごく楽しかった！若干お尻痛くなったけど！

9月11日(火)

マラン生活最後の日。午前中は通訳学生と2人で行動。博物館に連れてってもらったり、マラン1大きなモスクを見学させてもらったり、マラン1美味しいらしいアイスクリームを食べたり。これが最後かと思ったらすごく寂しかったけど、その分思いっきり楽しんだ！

そして午後は Kantori というすごく大きな高級レストランでお別れパーティー。アドレス交換したり、写真撮ったり、プレゼントしたり。

笑顔でバイバイするって決めてたけど、ダメでした。今日でお別れなんて、すごく寂しかったです。うちのバスが出てからも泣きながら走って追いかけてきてくれたりして、これが泣かずにいられますか。そのままスラバヤの空港に行き、23時40分出発。



9月12日(水)

5時40分、台北着。8時50分、台北発。13時15分、成田着。

最後の最後になんでかなって思うけど、めっちゃくちゃ酔いました。普段は乗り物酔いなんかしないから自分でもビックリ。たぶん疲れと乱気流のせい。

成田で日本人メンバーともお別れ。本当に楽しい頼もしい人たちでした。あの19人で一緒に行けて、一緒に帰ってこれてよかったです。楽しい楽しい8泊9日でした。

☆まとめ☆

インドネシアはテキトーでのんびりな国でした。道路はデコボコ。車はなんとなく2車線だったり4車線だったり。隙あらば抜かしていくし、横断歩道も信号もないし。道路渡るの命がけだったし。現地の人がいなかったら渡れなかったよ。時間もルーズ。店員さんも堂々と怠けてるし。自分のことでのんびりさんだと思ってたのに、早いねって言われて驚き。常に常にカルチャーショック。

でもでも、そのテキトーさに馴染めた自分にもビックリ。最後はここに留まりたいと思っちゃったくらい。すごく過ごしやすい気候で、食べ物美味しいし、フルーツ安いし、ホテルし、物価は安いし、代謝はよくなるし、何より人が良い。もちろんスリとかの犯罪もあるから怖いけど、でも人々はいつも笑ってて楽しくて温かい人ばかり。本当に本気で永住したかったです。

最後は日本に帰りたくないって嘆いてました。

それくらいインドネシアは私にとって素敵な国でした。また行きたいです。いや、絶対行きます！！

スタッフの方々、ブラウイジャヤ大学の方々、先生、メンバーの皆、マラン。本当に本当にありがとうございました！！

多文化交流 in 台湾 2008

「多文化交流 in マラン2007」の興奮も冷め遣らないままに、来年2月実施予定の「多文化交流 in 台湾2008」の準備に入っています。今年の1月の台湾に続いて

の企画ですが、今回は台北だけではなく台南にまで足を伸ばし、新しく出来た台湾の新幹線にも乗る予定です。

会員の皆様には連絡が遅くなってしまいましたが、同封のチラシをご覧ください、参加を希望される方は至急太田までご連絡下さいますようお願いいたします。

会費・寄付（2007. 5. 6～11. 30）

2007年5月6日以降の会費納入状況、「多文化交流 in マラン（インドネシア）2007」でのインドネシアの学生招聘のためのご寄付、その他一般のご寄付の状況は下記の通りです。ご協力有難うございます。

振込通知書や現金を頂戴するたびに皆様のご協力に身の引き締まる思いですが、直接お目にかかった折に御礼を申し上げ損ねる事が多く、大変申し訳なく思っております。研究所が2000年に設立されて以来、紆余曲折もありましたが、こうして活動を続けることが出来ますのも皆様のご理解とご協力のお陰と感謝しております。なお、記載に間違いや漏れが無いよう注意しておりますが、もしも間違いなどございましたら、まことにお手数ですがご連絡ください。

会員で会費未納の方には未納年度を記した振込用紙を同封させていただきます。また、会員以外の方にも振込用紙を同封させていただきますが、決して入会・ご寄付を強要するものではありませんことを申し添えます。

なお、下にありますように何人かの方々からは2008年度分の会費を頂戴しています。その中にはこれまでに2007年度会費（もしくはそれ以前分）を重複して納めて下さった方の分もあります。返金し、年度が改まってから再度お振込をお願いするべきかとも思いますが、往復の振込経費を考えそのまま受領させていただいておりますのでご了解いただければと存じます。（以下、敬称略）

<新入会員> 古沢笑、八木由利子、山崎利夫、吉村耕治、陳怡真、次々と新しい会員を与えられ、感謝です。

<会費> 会費納入、有難うございました。研究所の活動を支え続けていただきありがたく感謝しております。なお、特に記載の無い方は07年度の会費を頂戴した方です。岩井均、今井睦子、福田英作・洋子、岡村清江、高橋一美、朝倉輝雄、佐々木貴子（06/07）、岩本謙、井田律子、小野関千枝子（08）、堀越直子（06～10）、川口知幸、水木健一、森泉英司、鈴木武仁（06/07）、木村真弓、山崎恵美子、本島靖子、鈴木美恵子、森泉孝幸、妹尾信孝、森泉寿義雄、佐藤直樹、星野富男・敏子、森村久子、立見麻衣子（07/08）、熊倉浩靖、森下正之、荒井美幸（06/07）、久保正直、多田明美（06/07）、正田智美、千木良和子（07/08）、白井義夫（08）、前田申栄（08）、木村隆・眞理子、金井美由紀、板垣剛。この他、野口紀子、石井七郎、斎藤恭子、杉浦隆一、遠間徹也、森啓、村辻義信の各氏からも08年度の会費を既に頂戴しております。

<寄付一般> 山村日出夫、新井義訓、上田伸子、栗原優、村辻義信、岡本武昭、木村真弓、八木由利子、山崎利夫、吉村耕治、板垣剛、小計 75,000 円のご寄付を戴きました。有効に活用させていただく所存です。

<インドネシアより招聘指定寄付> 「多文化交流 in マラン」で親しくなり、お世話になった学生達の中から数名を日本に招いて交流の続きを日本で行う計画を進めていま

す。以下はそのために特別に指定寄付をしてくださった方々です： 福田英作・洋子、高橋美一、岩本謙、井田律子、栗原優、川口知幸、村辻義信、森泉宏昭、阿部昭子、岡本武昭、水木健一、森泉英司、Yayoi Eisterhold、村井田和夫、佐藤春香、関千景、鈴木美恵子、森村久子、八木由利子、星野富男・敏子、坪井教由、金環炯、中村明佳、荒井美幸、多文化交流 in マラン 2007 参加者一同、日本福音学校、仲松郁代、花盛勲一、金井美由紀、千木良和子、五幣春代。

インドネシアの学生招聘のために募金をお願いした今年はじめから11月30日までの総計 412,952 円のご寄付を戴いています。おかげさまで学生二人を招く事が出来ます。お招きすることに決まりましたのはブラウイジャヤ大学出身で現在塾で日本語を教えているイチャさん、それから大学4年生のウィラスティさんのお二人で、2008年1月5日から10日間ほど群馬と東京を拠点に過ごしていただきます。航空運賃がもう少し安い時期なら、もう一人招聘することが出来たのにと残念な思いもありますが、少しでも余裕が出た場合には来年度の招聘プログラムの基本金としたいと考えています。

今後とも招聘事業は続けたいと願っておりますので、引き続きご協力をお願いします。

イチャさん、ウィラスティさん来日・滞在予定表

- 1月4日 スラバヤから出発
- 5日 ジャカルタ経由成田着 午前8:50
マランプログラムに参加した青柳旅館の長谷川昇宅でホームステイ
- 6日 青柳旅館にて歓迎会+「多文化交流 in マラン」同窓会
- 7日 県庁視察・表敬訪問
- 8日 国際比較文化研究所「懇談会」 太田敬雄宅でホームステイ
- 9日 安中市訪問
- 10日 草津温泉
- 11日 県内観光。東京へ移動 千木良和子宅にホームステイ
- 12日 ディズニーランド
- 13日 東京観光・東京在住の参加者との交流会
- 14日 成人式見学?
- 15日 昼からフレンド学園高等学校参観。宗教の授業に参加
- 16日 11時発の便で成田より帰国

編集後記: ☆相変わらずの不規則な会報発行。ミスも多いかと思いますがご笑覧下さいますようお願いいたします。

☆ホームページも少しづつ更新してまいりますので、時折覗いてみて下さい。

☆今号には総会報告など掲載すべき内容がまだまだあるのですが、「多文化交流 in 台湾」のご案内がこれ以上遅くならないよう、次回に回させていただきます。ご了解いただければ幸いです。

☆現在夢見ている企画がもう一つ。小さい子供さんの居るご家族のための「親子で多文化交流」を体験するプログラムです。(太田記)

Newsletter 発行：特定非営利活動法人国際比較文化研究所

事務所：〒379-0124 群馬県安中市鷺宮3413-3

電話：027-382-5998 FAX：027-382-6393

e-mail：mtharunac@xp.wind.jp

郵便振込口座番号：00510-0-61974 名称：国際比較文化研究所